

現在社会的問題とされている「学力低下」は、「ゆとり教育」や「新学力観」といった教育政策の転換に起因するという指摘がある。一方、教育学者の荻谷剛彦（『階層化日本と教育危機—不平等再生産から意欲格差社会（インセンティブ・ディバイド）へ』、2001年）等は、「社会階層」と「学力低下」問題の関連に注目し、近年より顕著になった親の学歴や職業による社会階層の差異が、子どもの学習意欲や学力に影響を与え、結果として学力低下をもたらしている、という見解を示している。

こうした「学力低下」の現象及び原因に関するあなたの分析、また、全国学力テストの実施や土曜授業の容認等、次々と打ち出されている対応策に対しての考え・意見を述べて下さい。

（字数制限はありません。）